

# みんなで食べよう 地域食堂で

日本全国に「子ども食堂」が広がりを見せています。八王子市では、子どもだけでなく、地域の誰もが気軽に立ち寄れる「地域食堂」を、八王子食堂ネットワークがつないでいます。今回、八王子食堂ネットワークに登録している12の「地域食堂」のうち、元本郷町にある「ほっこり食堂」と、八木町にある「光明八木町食堂」を訪ねました。

## ほっこり食堂

夜道を照らす月のように、淡い明かりが漏れる一軒家。思わず「ただいま」と言いたくなるような食堂が、元本郷町の住宅街の中にあります。その名は『ほっこり食堂』

玄関を抜けて中へ入ると、台所からおいしそうなおいが。親戚が集まっているかのように、わいわいがやがや。赤ちゃんからご高齢の方まで一緒に座卓を囲み、笑ったり話したりしています。

代表を務める大矢久美子さんの「みんなに団らんを感じてほしい」という願いが込められた食堂で、あなたもほっこりしてみませんか。



座卓に並ぶのは、食堂を支えるメンバーの温かい手料理。使用する食材はフードバンク八王子をはじめ、企業やご近所さんなどからいただいたものばかり。



この日の光明八木町食堂のメニューは、ハヤシライスを中心に、たらの竜田揚げや野菜サラダ、白玉ぜんざい等々。セルフサービスのbuffet形式になっており、子どもたちも慣れたようすで取り分け、お気に入りの席へ。



## 光明八木町食堂

広々としたテラスから八王子の街並みが一望できる光明八木町食堂。毎月第四土曜日の昼 12時から、光明ビルの6階で開かれています。エレベーターが到着すると、スタッフの温かい笑顔が待っていました。

「子ども食堂は職員の発案なんです」と、社会福祉法人多摩養育園理事長の足利さん。今後はもっと開催回数を増やしたいと考えています。福祉施設を活用した地域の拠点が生まれ、育っていました。



毎回100人を超えるという来場者のなかにはシニアのグループやおひとり様の姿もあり、地域の社交場となっています。

# 子どもおとなも、みんな 一緒に大きな口をあけて

～八王子食堂ネットワークがつなぐ「地域食堂」～

「おいしいごはんは、みんなで食べればもっとおいしい」。全国で子どもおとなも関係なく、みんなで集まって一緒にごはんを食べながら過ごせる、子ども食堂を含めた地域の居場所を「地域食堂」と呼んでいます。そうした食堂をつなぎ、新たに食堂を始めたい人に寄り添い、子どもたちを地域で支えていく枠組みとして「八王子食堂ネットワーク」が今年発足。お話を伺いました。

## ● 市の委託事業として2017年6月にスタート

このネットワークは、八王子市子どものしあわせ課より、一般社団法人フードバンク八王子が子ども食堂や無料塾などの子どもを支援する活動へのサポートに関する業務を受託する形で運営されています。

現在、ネットワークには12の食堂が登録しています。12月9日には新たに「しろくまごはん」がスタートし、ネットワークは更に広がりを見せています。

受託団体である一般社団法人フードバンク八王子の川久保美紀子さんは「ネットワークができたことで、1つの食堂だけでは作れなかったつながりができるようになった」と話します。地域のイベントから声がかかることや、企業、宗教団体などからフードバンクへの寄付が寄せられるなどの受け皿として機能できていることが、ネットワークができたことによる大きなメリットであるとのこと。

一方、ボランティアの方々の善意によって運営されるこうした食堂にとって、食堂を定期的に営業するだけでも大変なことであり、ネットワークの活動に関わってもらうことが負担になるという側面もあります。それでも「個々の食堂の事情を大切にしながら、多様な考え方を尊重し『ゆるく』つながれるネットワークでありたい」と、フードバンク八王子代表理事の國本康浩さんは言います。

ネットワークでは、登録されている食堂の月間営業カレンダーをホームページで公開しているほか、市内の施設などにおいて配布しています。ぜひ皆さんも食堂に足



ネットワークへ寄せられる市民、企業、団体からの寄付が、それぞれの食堂へと渡っていきます。

を運んでみてください。

## ● 地域食堂の抱える課題

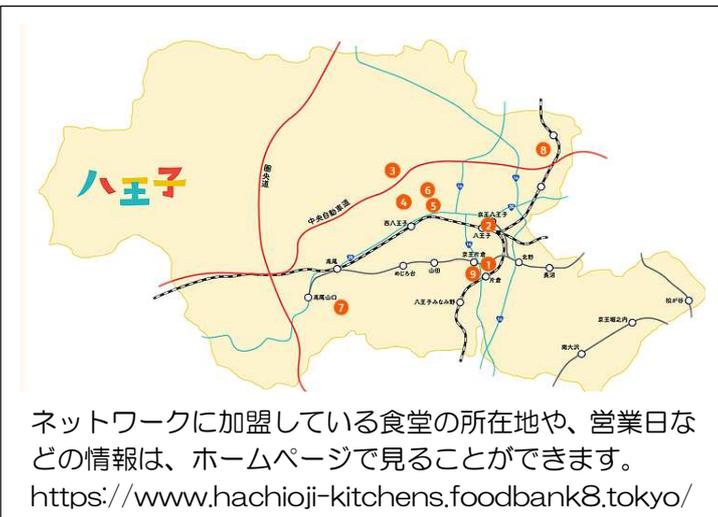
広がりを見せている八王子の地域食堂ですが、食堂は八王子駅周辺と片倉地域に集中し、北部や西部などに設置できていないことが課題として挙げられています。また、食堂は誰もが利用することができ、地域の居場所として定着しつつありますが、困窮状況にある子どもたちや、その世帯をサポートするという子ども食堂の当初の目的に照らし合わせると、来て欲しいとされる層がかえって食堂に居づらくなってしまおうという課題があります。一方で、今度は困窮した子どもたちだけに対象を絞ると、食堂に行くこと自体が、社会的弱者であるというレッテル貼りがなされる可能性があることも指摘されています。食堂の広がりとともに、食堂のあり方・コンセプトについては議論を重ね、地域に活動の実績をつくることが求められているのではないのでしょうか。

## ● 地域食堂を「核」に、多機能型の地域福祉拠点を

民間のボランティアな意思のもと、地域食堂は広がりを見せていますが、人的資源・資金面で運営を継続していく上での課題があります。人の集まる場としての食堂を「核」に据え、フードバンクとしての機能や地域包括ケアシステムと絡めた地域連携機能を集約することでの事業化を目指していくことが1つの方向性であると國本さんはいいます。「わたしたちの大切な場所」を市民や行政、企業がどう支えあうのか、これからの地域のあり方を展望する視点をいただきました。

### 八王子食堂ネットワーク活動報告会 「おせっかいな居場所の作り方」

- 日時：2018年1月27日（土）13:30～16:30
- 会場：学園都市センター ギャラリーホール（11階）
- 基調講演：湯浅誠さん（社会活動家、法政大学教授）  
「子ども食堂・地域食堂が地域に果たす役割とこれからの可能性」
- 申込先：フードバンク八王子ワークス  
(TEL) 042-649-1769  
(e-mail) info@foodbank8.tokyo



ネットワークに加盟している食堂の所在地や、営業日などの情報は、ホームページで見ることができます。  
<https://www.hachioji-kitchens.foodbank8.tokyo/>



ファミリー世代を中心とした  
多世代に気軽に利用してもらう  
ことで、まちのにぎわいを生み出し、木に触れる機会  
を増やすことで、木に興味を持ってもらい、八王子の  
素敵なものを知り、もっと八王子を好きになってもら  
う、そんな拠点づくりを「まちなか交流・活動拠点  
kikki+」は目指しています。

木のぬくもりが感じられる暖かい空間に多世代が  
集い、笑いあふれる和やかな時間が過ぎていきます。



子育てママパパを応援します。木の温もりに包まれてママ  
パパ、赤ちゃんも心からリフレッシュ。楽しい子育てのヒ  
ントが見つかります。

まちなか交流・活動拠点 kikki+は、八王子市と多摩信用金庫とで締結した協定にもとづき、ファミリー世代を中心とした幅広い世代の活動を支援し、地域社会の発展、本市の魅力向上及び中心市街地の活性化を推進することを目的とした施設です。運営は、公募により選定された特定非営利活動法人ポケットパークが行っています。

〒192-0071 東京都八王子市八日町 3-15

営業時間 月曜～金曜 10:00～17:00 (ランチタイム 11:00～14:00)

定休日: 土・日曜、祝日 ※土・日曜、祝日は、イベントなどを開催します。詳細は、随時、お知らせいたします。

◎カフェに関するお問い合わせ

Tel042-686-0317 (平日 10:00～17:00)

◎イベント・その他に関するお問い合わせ <お問合せフォーム> <https://www.kikkiplus.jp/contact>

## 助成金情報

詳しくは、NPO さぼーと 802 にお問合せいただくか、はちコミねっとのサイトをご覧ください

名称	主催	助成対象	助成金額	締切
未来につなぐ ふるさと基金	公益財団法人パブリック クリソース財団	生物多様性の大切さを 伝える活動	上限 50 万円	1/10 (水) 消印有効
東京の赤い羽根共同募金 全都配分 (A 配分)	社会福祉法人 東京都共同募金会	都民対象の 地域福祉推進事業	配分対象種別による	1/12 (金) 必着
CO・OP 共済 地域ささえあい助成	日本コープ共済 生活協同組合連合会	生協と協同して地域の くらしを向上させる活動	最大 100 万円	1/31 (水) 消印有効
洲崎福祉財団助成	公益財団法人 洲崎福祉財団	障害児者に対する 自立支援活動	上限 200 万円	1/31 (水) 消印有効
アウトドア環境保護基金	コンサベーション・アラ イアンス・ジャパン	アウトドアフィールドの環 境保護活動	10万円～50万円	2/15 (木)
第 19 回社会貢献基金	一般財団法人 冠婚葬祭文化振興財団	様々な社会貢献活事業	上限 200 万円	2/28 (水) 必着
WAN 基金助成金	WAN 基金運営委員会	女性のための活動	上限 50 万円	3/1 (木)
当事者ボランティア・ 市民活動推進事業助成	東京ボランティア・ 市民活動センター	障害・病気等の当事者が行 うボランティア活動支援	上限 5 万円	3/9 (金)

## NPO・市民活動イベント情報

詳細については、各団体にお問合せ下さい (参加費=参、定員=定、対象=対)

イベント	日時	会場	内容	主催	申込先	備考
新年音楽会	1/20 (土)	横川町住宅 わいわいサロン	八王子フォロクロレ 同好会音楽会	わいわいサロン	042-622-6318	定:50名
第15回シニア 元気塾コーデ ィネーター養 成講座	2/1(木)8(木) 15(木)23(金) 3/1(木)7(水) 13:30~16:00	大横保健福祉 センター	高齢者のボランティア 活動を支援するコーデ ィネーターの役割やボ ランティア活動を学ぶ (入門講座受講者又は ボランティア経験者)	八王子センター 元気 (八王子市 高齢者活動コー ディネートセン ター)	往復葉書に「シ ニア」と氏名(ふ りがな)・住所・ 年齢・電話番号 を記載。 1月1日市広報 参照	参:無料 定:50名 対:市内在 住60歳以 上。
やさしい 箱庭講座	全10回 第3土曜日 1/20~11/17 13:00-15:00	まてりあ 八王子市初沢 町1231-17 高尾力栄ビル 402号室	体験を通し、箱庭の見 方を学びます。カウ ンセリングスペースま てりあは、不登校、ひき こもりに悩む親子支援 を目的に活動。	カウンセリング スペース まてりあ	042-662-8708	参:2000円 (1回) 定:6名
「結婚講座」 自分らしく しあわせにな るパートナー の選び方	2/2(金) 19:00-21:00	八王子学園 都市センター 12階イベント ホール	人生を左右するパート ナー選びで、一番大切 なことを学べる講座。 未婚・既婚問わず役立 ちます。	地域婚活支援の 会	https://tsuku2 .jp/aitoyuuki	参:3000円 定:100名

## ボランティア・会員募集情報

詳細については、各団体にお問合せ下さい

団体名	ボランティア・活動の内容	連絡先
わいわいサロン (横川町108 横川町住宅 8-1-4)	サロンへ来られる方への給茶とお話相手(毎週月~土曜日 14:00~16:00)	渡辺 042-623-6918 サロン 042-625-2935

## 〈 NPO・市民活動イベント情報 〉〈 ボランティア・会員募集情報 〉をご活用下さい!

広報紙「SUPPORT802」は、年6回奇数月(5月、7月、9月、11月、1月、3月)に5000部発行し市内・市外関係団体や施設等に配布しております。つきましては、貴団体が予定するお知らせしたい「イベント」又は「ボランティア募集」の記事がありましたら発行奇数月の2か月前月末までにお知らせください。(5月発行の広報紙に掲載希望の場合は、3月末までにご寄稿下さい) FAX、電話でも受け付けます。申込書はHPからもダウンロードできます。また、原稿が多少遅れそうな場合には、事前にご相談ください。なお、掲載は無料です。できるだけ多くのイベント情報を掲載したいと考えておりますが、紙面の都合上掲載をお断りする場合や、文面を調整させていただく場合がございます、ご了承ください。よろしくお願ひ申し上げます。

## 新スタッフ紹介

### 広報部長 日比野 勲

9月から、広報部長として「SUPPORT802」の制作・編集に主に関わっています。皆さんの団体に取材で伺うこともありますが、よろしくお願いします。

また大学生をはじめとしたユース(若手)の活動サポートにも注力しています。



### スタッフ 早乙女 友子

今年の3月から登録団体としてお世話になってます。そして、11月からはスタッフとして、みなさまに楽しく活動してもらえよう、お手伝いさせていただくことになりました。まずは団体様のお名前とお顔を覚えたいので、お気軽にお声かけ下さるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



広報紙 SUPPORT802

発行日: 奇数月1日(年6回発行)

発行: 八王子市市民活動支援センター

発行部数: 5,000部/回

配布場所: 八王子市役所、市内各市民センター、市民部事務所、

図書館、体育館、子ども家庭支援センター、

その他



NPO番号: 802 はちおうじ  
042-646-1577 Fax: 042-646-1587  
〒192-0083 八王子市旭町1番1号ファルマ802ビル5階

http://www.shiencenter-hachioji.org/  
http://hachioji.komi.genki365.net/  
np0802@shiencenter-hachioji.org

開館時間 10時~21時 日・祝は17時まで  
休館日 月曜日 祝日の場合は翌火曜日  
指定管理者 特定非営利活動法人八王子市民活動協議会